

令和7年度行政評価結果 (令和6年度実績分)

日出町 政策企画課

【 令和 7 年度行政評価結果（基本事業） 】

1 評価対象

基本事業 89 事業（施策 7 の 1 1 基本事業を除く全ての基本事業）

2 評価結果

「A」評価（R 6 目標値達成率 100%）・・・ 22 事業（24.7%）
「B」評価（R 6 目標値進捗率 90%以上 100%未満）・・・ 36 事業（40.5%）
「C」評価（R 6 目標値進捗率 80%以上 90%未満）・・・ 26 事業（29.2%）
「D」評価（R 6 目標値進捗率 80%未満）・・・ 5 事業（5.6%）

昨年度の評価結果より、「A」評価は 6 事業の減少、「B」評価は 4 事業の増加。対して、「C」評価は 4 事業の増加、「D」評価は 2 事業の減少となり、進捗率が 80～100%内に片寄ってくる結果となった。

【 令和 7 年度行政評価結果（事務事業） 】

1 評価対象

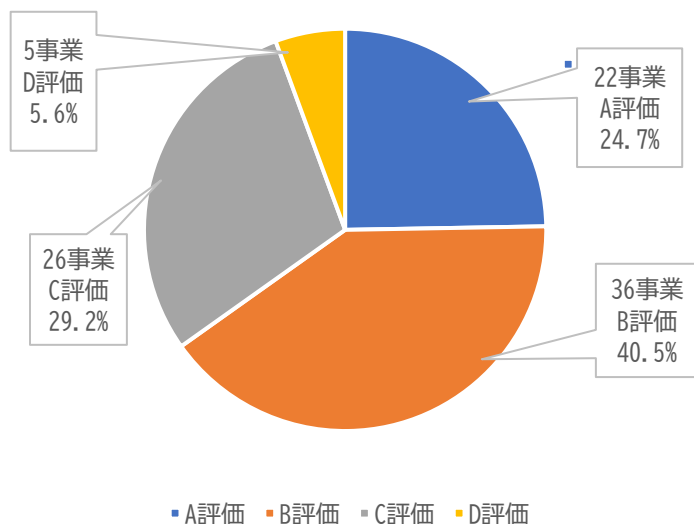
事務事業 125 事業（全事業ヒアリング実施）

2 評価結果

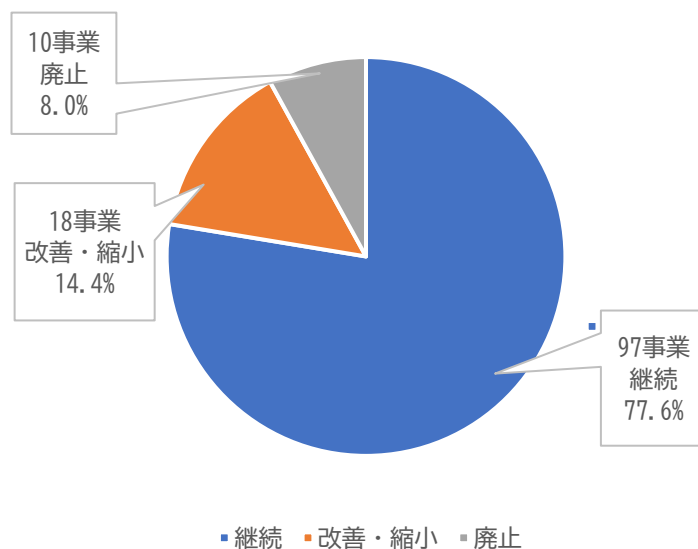
継続・・・ 97 事業（77.6%） 改善・・・ 18 事業（14.4%）
縮小・・・ 0 事業（0.0%） 廃止・・・ 10 事業（8.0%）

昨年度の評価結果より、「継続」は 27 事業の増加。対して、「改善・縮小」は 23 事業の減少、「廃止」は 5 事業の増加となった。ただし、廃止の評価の事業の中には予定どおり終了した事業も含まれるため、事業の進捗状況等は概ね順調といえる結果となっている。

基本事業における評価結果



事務事業における評価結果



1-1 健康づくりの推進

担当課:健康増進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
お達者年齢	男性 81.0 歳 女性 85.4 歳	男性 80.8 歳 女性 84.7 歳	男性 81.0 歳 女性 85.4 歳
自分が「とても健康」「まあまあ健康」だと感じている町民の割合	70.0%	82.0%	80.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-1-1 地域における健康づくりや食育の推進 **重点 P**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
地域での健康づくり活動を行うボランティア養成数(年間)	330 人	313 人	340 人
地域や職域における普及啓発回数(年間)	28 回	59 回	30 回
20 歳の時の体重から 10 キロ以上増加している人の割合(削減目標)	33.5%	42.7%	33.0%

【評価コメント】

「地域での健康づくり活動を行うボランティア養成数」は目標まであと一步の状態が続いている。周知・広報を強化し、養成に力を入れて頂きたい。「地域や職域における普及啓発回数」については、目標を大きく上回っている。「20 歳の時の体重から 10 キロ以上増加している人の割合」は悪化が続き、目標値から大きく離れてしまっている。町民の意識による部分が大きいものとなるので、こちらも効果的な広報・啓発を行い、改善に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
健康増進事業	継続
食育推進事業	継続

基本事業 1-1-2 食育の連携強化

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
連携した関係部署や団体数(年間)	49 力所	54 力所	54 力所
食に関する普及啓発活動数(年間)	50 回	127 回	50 回

【評価コメント】

「連携した関係部署や団体数」「食に関する普及啓発活動数」の両指標とも目標値を達成しており、食育の連携強化が推進されていることが伺える。引き続き、取組を強化して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
食育推進プロジェクト「やさイト！」事業	廃止

基本事業 1-1-3 健診(検診)受診率の向上

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
健診受診率向上施策の取り組み回数(年間)	43 回	84 回	46 回
過去 1 年間に健診や人間ドックを受けたことのある町民の割合	79.5%	82.3%	80.0%
特定健診受診率(国保)	44.0%	—	45.0%

【評価コメント】

「健診受診率向上施策の取り組み回数」「過去 1 年間に健診や人間ドックを受けたことのある町民の割合」は両指標とも目標を達成している。特に前者の取り組み回数の実績は昨年度の 3 倍近くまで増加している。この成果が現れるのは令和 7 年度の後者の町民の割合に反映されてくると思われるが、引き続き受診率向上に向け施策を実施して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
がん検診推進事業	継続

基本事業 1-1-4 生活習慣病予防対策の推進【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
生活習慣病予防教室開催数及び参加者数	45 人／回	19 人／回	50 人／回
特定保健指導実施率(国保)	53.4%	—	54.0%
地域における健康相談実施数(年間)	20 回	20 回	21 回

【評価コメント】

「生活習慣病予防教室開催数及び参加者数」は昨年度よりは大幅に伸びたものの、それでも目標には遠く届いていない。教室の開催は3回、計58人参加とのことであるが、広報などに力を入れ、教室の開催件数を減らすことなく、目標値を達成できるよう取り組んでいただきたい。「地域における健康相談実施数」は昨年度から大幅に増加し目標を達成している。引き続き、老人クラブだけでなく様々な地域団体と連携し、相談会を実施して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
健康増進事業	継続

基本事業 1-1-5 こころの健康づくりの推進【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
ゲートキーパー研修の受講者数(年間)	600 人	538 人	600 人
こころの相談会の利用者数(年間)	75 人	30 人	75 人

【評価コメント】

「ゲートキーパー研修の年間受講者数」は昨年度からほぼ横ばいとなっているが、目標には達していない。学校以外にも事業所等にも研修の場を広げ、目標達成できるよう取り組んで頂きたい。「こころの相談会の年間利用者数」は減少が続き、目標値から離れていっている。相談しやすい場を設けていることは重要であるため、開催場所や日時などを再検討しながら事業を進めて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
自殺予防対策強化事業	継続

基本事業 1-1-6 医療機関との連携強化

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
「かかりつけ医」のいる町民の割合	79.0%	71.5%	80.0%
日出町健康課題連携会議の開催数(年間)	1 回	5 回	1 回以上

【評価コメント】

「「かかりつけ医」のいる町民の割合」は達成率が90%を超え、もう一步のところまで来ている。取り組みはここまま継続していったほしいが、かかりつけ医がいない理由についても分析を進めてほしい。「日出町健康課題連携会議の開催数」は0回が続いていたところ、令和6年度は5回と大きく取り組みが進んでいる。引き続き医師会等の連携を深め、お互いの課題の解決のため役立てていきたい。

基本事業 1-1-7 新たな健康リスクへの対応

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町報、回覧、ホームページ等による町民への周知回数	3 回	25 回	3 回
健康教室の開催回数(年間)	5 回	1 回	6 回

【評価コメント】

「町報、回覧、ホームページ等による町民への周知回数」は昨年度よりは減少したものの目標値は大きく上回っている。「健康教室の開催回数」は目標値を下回っているものの、これは新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより関連する健康教室の必要性が下がったことによる。今後、また新たな感染症などが発生する可能性もあるので、体制整備は引き続き行っていくようお願いする。

1-2 地域福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
地域ぐるみで支えあう福祉体制が整備されていると感じる町民の割合	65.0%	78.5%	70.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-2-1 地域福祉の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
ここ 1 年以内に地域活動やボランティア活動に「参加したことがある」と回答した町民の割合	65.0%	44.6%	70.0%
「広報ひじ」や「社協だより」での地域福祉啓発記事の掲載件数(年間)	広報ひじ 4 回 社協だより 4 回	広報ひじ 1 回 社協だより 4 回	広報ひじ 4 回 社協だより 4 回

【評価コメント】

「ここ1年以内に地域活動やボランティア活動に「参加したことがある」と回答した町民の割合」及び「「広報ひじ」での地域福祉啓発記事の掲載件数」は昨年度より増加しているものの目標値とは大きな隔たりがある。「社協だより」での地域福祉啓発記事の掲載件数は目標を達成しているのにもかかわらず、広報ひじでの掲載が行われていない状況となっている。広報ひじでの掲載回数を増やすよう取り組み、SNS など広報ひじ以外の手段でも啓発を必ず行って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
社会福祉協議会補助事業	改善

基本事業1-2-2 支え合いの仕組みづくり

【指標の達成状況】 **C**（やや遅れている）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
包括的相談支援連携会議の開催回数(年間)	2 回	2 回	2 回
民生委員・児童委員の研修受講率(%)	100%	97%	100%
まちづくり協議会(地域運営自主組織)及び類似組織の設立数	6 団体	1 団体	6 団体
住民見守りネットワーク主催の連絡会・研修等の開催回数(年間)	2 回	1 回	2 回
生活困窮者自立支援制度の周知回数(年間)	4 回	0 回	4 回

【評価コメント】

「包括的相談支援連携会議の開催回数」及び「民生委員・児童委員の研修受講率」は概ね順調に推移している。「まちづくり協議会(地域運営自主組織)及び類似組織の設立数」「住民見守りネットワーク主催の連絡会・研修等の開催回数」「生活困窮者自立支援制度の周知回数」については、目標値に大きく届いていない。特に自立支援制度の周知回数については、広報ひじや他の手法を活用し、必ず目標を達成して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
老人福祉費	継続
在宅老人福祉事業(老人クラブ活動等社会活動促進事業)	継続
多世代交流・支え合い活動推進事業	継続
包括的相談体制整備事業	継続
重層的支援体制整備事業	継続

基本事業1-2-3 災害時の支援体制

【行政評価会議による評価】 **C**（やや遅れている）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合 ※R3.5 に法改正	90.0%	37.9%	100%

【評価コメント】

「避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合」の目標においては令和 7 年度において全員分が終わるはずだが、令和 6 年度において進捗は 37.9%と低いものとなっている。同計画は高齢者や障がい者の災害時の支援のために必要不可欠なものであるため、計画作成の再周知や緊急度が高い人への個別訪問など、地道に割合を増やす取り組みを進めて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
災害時要援護者管理システム事業	改善

1-3 高齢者福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
要介護認定を受けていない 65 歳以上 75 歳未満の割合	96.5%	97.3%	96.5%
要介護認定を受けていない 75 歳以上の割合	70.9%	75.5%	70.9%
住民主体の地域活動団体数(累計)	66 団体	62 団体	70 団体

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-3-1 介護予防・重度化防止の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
住民主体の地域活動団体数(累計)	66 団体	62 団体	70 団体
地域ケア会議開催回数(年間)	19 回	21 回	19 回
ほほえみ広場の参加者数(年間)	835 人	1,011 人	900 人
要介護認定率	16.9%	15.4%	16.9%
要介護等状態区分が維持または改善した者の割合	67.4%	62.1%	67.5%

【評価コメント】

全ての指標で進捗は概ね順調と言える。特に「要介護認定率」が僅かではあるが下がり続けており、「要介護等状態区分が維持または改善した者の割合」が増加に向かったことは介護予防の観点からも非常に喜ばしい結果である。「住民主体の地域活動団体数」については着実に増加しているが、最終目標達成にはテコ入れが必要な感触を受ける。取組を強化し、元気な高齢者を増やすことに繋げていきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
在宅高齢者住宅改造助成事業	継続
高齢者通いの場魅力向上事業	廃止

基本事業1-3-2 介護保険制度の持続

【行政評価会議による評価】 **C**（やや遅れている）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
介護ボランティア養成者数(年間)	28 人	6 人	30 人
エプロン隊の活動回数(年間)	282 回	488 回	360 回
要介護認定の適正化にかかる調査員検討会開催回数(年間)	6 回	2 回	6 回
ケアプランの点検事業所数(年間)	6 事業所	3 事業所	7 事業所
実地指導を行った介護事業所数(年間)	4 事業所	3 事業所	5 事業所

【評価コメント】

「エプロン隊の活動回数」は目標を大きく上回っており順調である。逆に「介護ボランティア養成者数」は低空飛行が続いており、目標値まで大きな隔りがある。養成講座の回数の増加や周知広報の強化により向上を図って頂きたい。「ケアプランの点検事業所数」及び「実地指導を行った介護事業所数」も着実に実施されてきているが目標未達成である。実施回数を増やすことにより、適切な事業所運営がされるよう取組を強化して頂きたい。

基本事業1-3-3 地域生活支援体制の整備

【行政評価会議による評価】 **B**（概ね順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
地域包括支援センターでの総合相談件数(年間)	248 件	452 件	250 件
緊急通報装置設置世帯数(累計)	260 世帯	229 世帯	270 世帯

【評価コメント】

「地域包括支援センターでの総合相談件数」は減少したものの目標値を大きく上回っている。訪問対象者の選定に工夫がされており、引き続きメリハリのある訪問を行っていただきたい。「緊急通報装置設置世帯数」は増加し、達成率は昨年度より上昇している。新しいシステムを周知をし、設置世帯数を増やすことで一人暮らしの高齢者等の事故防止に繋げていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
高齢者等見守り支援事業	継続
老人在宅介護者手当助成事業	廃止
老人・身体障害者はり・きゅう助成事業	廃止

基本事業1-3-4 生きがいづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(再掲)	96 件	99 件	120 件
ボランティア講師登録者数(累計)	18 人	15 人	20 人

【評価コメント】

「企業訪問件数」は大幅に伸ばし目標を達成している。高齢者の雇用につながる企業とコンタクトを取り、高齢者の就労に繋げていてもらいたい。「ボランティア講師登録者数」は2人増加したが、目標にはあと一歩というところである。引き続き、日出町社会福祉協議会と連携し、ボランティア講師の増加に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
在宅老人福祉事業(老人クラブ活動等社会活動促進事業)	継続
日出町シルバー人材センター支援事業(まちづくり推進課)	改善

基本事業1-3-5 認知症高齢者支援対策の推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	1,480 人	1,798 人	1,500 人
認知症カフェ参加者数(年間)	280 人	207 人	300 人
認知症高齢者等SOSネットワーク協力事業者数(累計)	44 機関	41 機関	45 機関

【評価コメント】

「認知症サポーター養成講座受講者数」は大きく実績を伸ばし目標を達成している。学校での講座開催の成果とこのことであるので、引き続き取組を推進して頂きたい。「認知症カフェ参加者数」は着実に実績を伸ばしてきているものの、目標には届いていない。開催件数を増加、開催周知の強化などにより参加者を増やし、支えあいの場を活性化してほしい。「認知症高齢者等SOSネットワーク協力事業者数」は目標まであと一歩のところまで来ている。事業者を訪問するなどし、ネットワークの構築を推進して頂きたい。

1-4 障がい者福祉の推進

担当課:介護福祉課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
障がいの有無にかかわらず、生きがいを持ち安心して生活できると感じる町民の割合	67.0%	79.2%	70.0%
就労支援サービス利用から一般就労への移行者数	8 人	5 人	10 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-4-1 地域生活支援の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
日出町障害者等基幹相談支援センター主催の研修受講者数(年間)	25 人	10 人	30 人
自立支援協議会地域生活支援部会開催回数(年間)	5 回	1 回	5 回
障害福祉サービス新規利用者数(年間)	49 人	41 人	50 人

【評価コメント】

「日出町障害者等基幹相談支援センター主催の研修受講者数」では研修自体が2年連続で開催されたこと、また「自立支援協議会地域生活支援部会開催回数」が久しぶりに開催されたことは取組が前進した証拠として評価できるが、両指標とも目標には大きく届いていない。センターと連携し、年間計画を立てたうえで悪実に実施して頂きたい。「障害福祉サービス新規利用者数」は昨年度より減少し、目標達成できていない。周知方法を工夫するなど、取組を進めて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
障害児通所支援利用促進事業	継続
軽度・中度聴覚障がい児支援事業	継続
障害者福祉年金給付事業	継続

基本事業1-4-2 障がい者の自立支援と社会参加の促進**【行政評価会議による評価】** **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
障がい者への差別解消に向けた研修会等の開催回数(年間)	2 回	3 回	2 回
外出支援に係る障害福祉サービス等利用者数(年間)	24 人	21 人	25 人
就労支援サービス利用者数(累計)	128 人	206 人	130 人
自立支援協議会就労支援部会開催回数(年間)	4 回	1 回	4 回

【指評価コメント】

「障がい者への差別解消に向けた研修会等の開催回数」は目標達成できている。関係課へも研修会の開催を依頼し町全体で障がい者への差別解消対策事業が進むよう働きかけをお願いしたい。「外出支援に係る障がい福祉サービス等利用者数」は目標値に届いていないので、周知広報を強化してほしい。「就労支援サービス利用者数」は目標達成できている。「自立支援協議会就労支援部会開催回数」は1回のみ開催されている。基幹相談支援センターと連携を密にとり、回数を増やして頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
重度身体障がい者タクシー料金助成事業	改善
在宅重度障がい者住宅改造助成事業	継続

1-5 子育て支援の充実

担当課:子育て支援課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
子育てしやすい環境が整っていると思う市民の割合	83.0%	87.7%	85.0%
出生数	240 人	179 人	250 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-5-1 子どもを産み育てやすい環境づくり

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
子育て世代包括支援センター年間相談件数	2,420 件	2,098 件	2,500 件
母子手帳アプリ「おひさまにこにこ」登録者数 (累計)	840 人	708 人	1,000人
公園の施設に満足している市民の割合	68.0%	80.8%	70.0%

【評価コメント】

「子育て世代包括支援センター年間相談件数」は横ばいである。これまで同様、周知を強化していただきたいが、相談しやすい環境も整備していただきたい。「母子手帳アプリ「おひさまにこにこ」登録者数」も達成率が低下するなど、伸び悩んでいる。アプリならではの特典を拡充するなど、登録者を増やす取組を推進していただきたい。「公園の施設に満足している市民の割合」は目標達成できているので、引き続き環境整備に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
利用者支援事業	継続

基本事業1-5-2 母子保健・福祉の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
乳幼児健診受診率	4ヵ月 100% 1歳6ヵ月 100% 3歳児 99.5%	4ヵ月 98.4% 1歳6ヵ月 100% 3歳児 100%	4ヵ月 100% 1歳6ヵ月 100% 3歳児 100%
3歳児健診でのむし歯保有率	17.0%	11.9%	16.0%
乳児家庭全戸訪問実施率	100%	100%	100%

【評価コメント】

全ての指標について目標達成または極めて近い数値を達成しており、進捗は順調と言える。最終年度も目標達成できるよう着実に取組を進めていただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
子ども医療費助成事業	継続
任意予防接種事業	継続
家事育児支援事業	改善
産後ケア事業	継続

基本事業1-5-3 保育サービスの充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
保育園・認定こども園等の待機児童数	0人	0人	0人
保育所等整備施設数(累計)	3箇所	3箇所	3箇所
病児・病後児保育利用可能施設(累計)	3箇所	3箇所	3箇所
ファミリーサポートセンター事業の会員総数(累計)	440人	526人	460人

【評価コメント】

全ての指標において目標達成されており、進捗は順調と言える。ファミリーサポートセンターの会員が減少しているが、実際に活動できる会員を精査した結果とのことで、適切な状況を把握しようとする姿勢も評価できる。ただ、待機児童は解消されたものの、保育士の人材確保の難しさは未だ続いているので、解消に向けこども園等のサポートを続けていただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
地域子育て支援事業	継続

基本事業1-5-4 放課後の子どもの居場所づくり 重プ②

【行政評価会議による評価】 **A**（順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
放課後子ども教室実施数(累計)	4 箇所	5 箇所	5 箇所
放課後児童クラブの支援単位数(累計)	12 単位	11 単位	12 単位

【評価コメント】

「放課後子ども教室実施数」は目標達成しており、引き続き地域で活動できるよう支援をしてほしい。「放課後児童クラブの支援単位数」は令和6年度では達成できていないが、令和7年度中に2施設増設される見込みが立っているため、取組は順調であると判断できる。引き続き、子供の居場所づくりを推進していただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
放課後児童健全育成事業	継続
児童館運営事業	継続
子どもの居場所づくり推進事業	継続

基本事業1-5-5 子どもの人権の尊重

【行政評価会議による評価】 **B**（概ね順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
要保護児童対策地域協議会の開催回数(年間)	12 回	12 回	12 回
児童虐待の相談通告先を「知っている」と答えた町民の割合	45.0%	48.7%	50.0%

【評価コメント】

「要保護児童対策地域協議会の開催回数」は目標達成できており、順調に推移している。「児童虐待の相談通告先を知っている町民の割合」については、目標達成はできているものの、達成率は下がり続けている。今後も周知・啓発を強化し、児童虐待の防止、早期発見に努めていきたい。

2-1 学校・園教育の充実

担当課：教育総務課、学校教育課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		90.0%	83.9%	90.0%
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	79.8%	85.3%	80.0%
	中学校	76.8%	76.2%	77.0%
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	81.0%	86.8%	82.0%
	小学校女子	84.5%	80.4%	85.0%
	中学校男子	78.0%	87.5%	80.0%
	中学校女子	86.5%	84.2%	87.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-1-1 確かな学力の向上 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		90.0%	83.9%	90.0%

【評価コメント】

「国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合」は昨年度より減少したものの、それでも 31 教科中 26 教科が全国平均以上と高い成績を維持している。平均以下だった科目については原因を分析し、引き続き、教職員の指導力の向上、児童生徒の学力の向上のための取組を実施していただきたい。

基本事業 2-1-2 豊かな人間性の育成

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	79.8%	85.3%	80.0%
	中学校	76.8%	76.2%	77.0%

【評価コメント】

「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合」についての目標達成率は、小学生は 106.9%を超え、中学生においても 99.2%と高い達成率になっており、自身を肯定している子どもが多いことが伺える。しかし

ながら、実績値としては中学生は 76.2%となっており、4 人に1人は自身を否定的に捉えていることを考えると満足してよい数字とは言えない。引き続き授業や特別活動の中で、自己肯定感を育てていって頂きたい。

基本事業 2-1-3 健康・体力づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	81.0%	86.8%	82.0%
	小学校女子	84.5%	80.4%	85.0%
	中学校男子	78.0%	87.5%	80.0%
	中学校女子	86.5%	84.2%	87.0%

【評価コメント】

「新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合」について、小学校・中学校ともに男子が大幅に伸びており、目標を達成している。女子についても昨年度より微減または同数値となっているが、高い水準を維持している。体力向上プランを見直しながら、体育専科教員を中心に更なる体力向上に努めていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
各種競技九州、全国大会出場費補助事業	継続
部活動活性化推進事業	継続
フッ化物洗口事業	継続

基本事業 2-1-4 グローバル人材の育成

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
外国語指導助手(ALT)による授業を楽しいと答えた児童の割合	93.0%	96.0%	94.0%
教員が1週間に PC 等の情報機器を活用する日数	4 日	4 日	5 日

【評価コメント】

「外国語指導助手(ALT)による授業を楽しいと答えた児童の割合」は目標達成できている。これは授業内容が創意工夫されている証である。中学生になると同趣旨の指標が下がる傾向にあることから、中学校においてもまずは英語が面白いと思われる授業を目指して頂きたい。「教員が1週間に PC 等の情報機器を活用する日数」についても目標達成しているが、昨今のデジタル化の波を考えるとある意味当然の結果でもある。今後は活用の中身についても精査し、教員の指導力の向上や負担軽減に繋げていってほしい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中学校外国語活動推進事業	継続
小学校外国語活動推進事業	継続

基本事業 2-1-5 特別支援教育の充実

【行政評価会議による評価】 **A**（順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
「個別の指導計画」の作成率	100%	100%	100%

【評価コメント】

「「個別の指導計画」の作成率」は 100%を維持し、目標達成できている。引き続き、指導計画を関係する教職員全員で共有し、支援が必要とする子ども一人一人に合った指導を行って頂きたい。

基本事業 2-1-6 幼児教育の充実

【行政評価会議による評価】 **C**（やや遅れている）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直しを行った回数	3.8 回	4.2 回	年 4 回
1学級15人以上の町立幼稚園の割合	80%	60%	100%

【評価コメント】

「小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直しを行った回数」は目標達成できている。引き続き、常にブラッシュアップされる教育課程を策定し続けて頂きたい。「1学級 15 人以上の町立幼稚園の割合」は昨年度と変わらず60%となっているが、実際の就園率は年々、下がっていている。そもそもの町立幼稚園の在り方も検討していく必要があるが、まずは現在の幼稚園の魅力を広報・周知していく際の手法や回数等をさらに改善し、就園率を向上させて頂きたい。

2-2 教育環境の充実

担当課:教育総務課、学校教育課、学校給食センター

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
不登校児童生徒の出現率	2.0%	2.6%	2.0%
いじめ事案に対する解消率	90.0%	82.2%	90.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-2-1 子どもの学びの保障 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
不登校児童生徒の出現率	2.0%	2.6%	2.0%
いじめ事案に対する解消率	90.0%	69.0%	90.0%

【評価コメント】

「不登校児童生徒の出現率」は昨年度より悪化し、目標値に達していない。また、「いじめ事案に対する解消率」も下降を続け、令和 3 年度以降、最低の数値となっている。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの活用はもちろんであるが、教職員全員の資質向上に努め、学校全体・関係機関全体でいじめの撲滅に向け、取組を進めてほしい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
スクールソーシャルワーカー活用事業	継続
フレンドリー広場事業	継続
日出町奨学金支給事業	継続

基本事業 2-2-2 時代の変化に対応した教育環境の整備

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
ICT 支援員の人数	2 人	2 人	2 人

【評価コメント】

「ICT 支援員の人数」は目標を達成している。教員にアンケートを実施するなどし、支援員の質についても確保して頂きたい。また、教員や児童生徒に配布しているタブレットの活用が進むよう、学校と連携して活用の推進策を考えて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
教育 ICT 環境整備事業	継続

基本事業 2-2-3 教職員の働き方改革の推進

【行政評価会議による評価】 **A**（順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
教職員の1か月の平均超過勤務時間 （削減目標）	30 時間	30 時間	30 時間

【評価コメント】

「教職員の1か月の平均超過勤務時間」については、目標値と同数値で目標達成となっている。しかしながら、超過勤務時間自体は昨年度より増えており、取組が後退しているようにも見える。スクールサポートスタッフや学習指導員の有効活用はもちろんであるが、様々なデジタルツールも活用することで、教職員の負担軽減を図って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中学校学習指導員活用事業	継続
小学校学習指導員活用事業	継続
中学校スクールサポートスタッフ活用事業	継続
小学校スクールサポートスタッフ活用事業	継続
部活動指導員活用事業	継続

基本事業 2-2-4 学校給食の充実

【行政評価会議による評価】 **C**（やや遅れている）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
一日当たりの平均残菜率	10.0%	10.1%	10.0%
町内産野菜の使用率	27.1%	21.4%	27.6 kg

【評価コメント】

「一日当たりの平均残菜率」「町内産野菜の使用率」とともに目標値を下回るとともに、昨年度よりも悪化している。昨年度の本評価での指摘どおり教職員等の給食費を値上げするなど様々な取り組みは評価できるが、目標達成には直接結びついていない。「町内産野菜の使用率」は町内の農業の現状を考えると難しい部分もあるので、献立の見直しや食育の強化などにより、まずは「一日当たりの平均残菜率」に重点を置き、取り組みを進めて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
学校給食食材調達事業	継続
学校給食調理事業	継続

基本事業 2-2-5 地域とともにある学校づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **A**（順調）

指標名		R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
外部人材を活用した特別授業を実施した開催数(年間)	小学校	19 回	97 回	20 回
	中学校	14 回	58 回	15 回

【評価コメント】

「外部人材を活用した特別授業を実施した開催数」については、小学校・中学校ともに目標を大きく上回っており、地域と一体になった学校づくりが進められていることが伺える。引き続き地域の人材を活用し、教職員の負担軽減などにも繋げるとともに、好事例については学校間で共有し、更なる広がりにつなげて頂きたい。

2-3 生涯学習・社会教育の推進

担当課:社会教育課、町立図書館

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
公民館主催教室やリーダー研修の参加者数(年間)	380 人	528 人	400 人
町立図書館来館者数	97,500 人	89,419 人	100,000 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-3-1 地域活動の充実 **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
住みよいまちづくりのための地域活動が大切だと思う割合	72.5%	89.2%	75.0%
地域リーダー養成研修開催回数(年間)	4 回	4 回	5 回

【評価コメント】

「住みよいまちづくりのための地域活動が大切だと思う割合」は増加し、目標達成できている。大切だと思うだけでなく、実際に地域活動に参加する町民が増えるよう取組を進めていって頂きたい。「地域リーダー養成研修開催回数」は昨年度より増加し、目標達成となった。引き続きリーダーの育成を続け、地域の活性化に繋げていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
二十歳のつどい推進事業	改善
社会教育総務費	継続

基本事業 2-3-2 学習機会や学習内容の充実

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
公民館主催教室開催数(年間)	7 教室	9 教室	8 教室
公民館主催教室参加者数(年間)	175 人	401 人	180 人
各地区公民館だよりの発行回数(年間)	30 回	11 回	34 回
自主教室開催数(年間)	37 教室	53 教室	38 教室

【評価コメント】

「公民館主催教室開催数」「公民館主催教室参加者数」とともに目標達成できている。引き続き新しい教室の開催などに取り組み、参加者数を増やしてほしい。「各地区公民館だよりの発行回数」については、昨年度と変化がなく、目標に大きく届いていない。全地区で統一した発行回数を定め、令和7年度は必ず目標達成してもらいたい。「自主教室開催数」は目標達成が続いている。主催教室からの移行などにより引き続き増加に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中央公民館費	継続
地域社会デジタル化事業	継続

基本事業 2-3-3 地域における子どもの健全育成

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
地区公民館放課後子ども教室開設数(累計)	4 箇所	4 箇所	5 箇所
体験活動教室などの開催数(年間)	55 回	75 回	60 回

【評価コメント】

「地区公民館放課後子ども教室開設数」「体験教室などの開催数」はともに目標を達成している。引き続き開催数等の増加を図るとともに、参加する子ども自体も増えるように関係機関と連携を強化し、取組を推進して頂きたい。また、子ども会活動については子ども会連絡協議会とも連携し、会員数の確保と活動の活性化に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
子ども会育成事業	改善
学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業	継続

基本事業 2-3-4 読書のまちづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町立図書館蔵書貸出数(年間)	127,500 冊	121,264 冊	130,000 冊
町立図書館内行事参加者数(年間)	1,350 人	8,600 人	1,600 人
子ども司書認定者数(累計)	40 人	30 人	40 人

【評価コメント】

「町立図書館蔵書貸出数」及び「子ども司書認定者数」の2指標については、目標を達成していないものの、毎年度着実な取り組みにより、実績値を順調に伸ばしている。令和 7 年度は最終年度となるが、目標達成に向けさらなる取組をお願いしたい。また、町立図書館開館 10 周年を PR することにより「町立図書館内行事参加者数」をさらに伸ばし、施策の成果指標である「町立図書館来館者数」10万人達成を目指して、様々な取組を進めて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
図書館運営事業	改善

2-4 芸術・文化・スポーツの推進

担当課:社会教育課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
文化協会会員数	800 人	396 人	810 人
週1回以上スポーツをした人の割合	54.5%	38.1%	56.0%
文化財施設年間来館者数【歴史資料館(帆足萬里記念館)・鬼門櫓・致道館の計】	13,750 人	13,571 人	14,000 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-4-1 文化・芸術の振興と活用

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
産業文化まつり参加団体数(文化部門)	86 団体	2 団体	87 団体
文化協会会員数	800 人	396 人	810 人
伝統芸能・文化の継承者数(辻間楽・津嶋神楽)	24 人	21 人	25 人

【評価コメント】

「産業文化まつり参加団体数」は大幅に減っているが、これは文化まつりそのものが中止となったことが原因であるため評価には考慮しない。しかし、その参加団体を構成する「文化協会会員数」の減少に歯止めがかかっていないことは大きな問題である。当然、増加の取組も進めてほしいが、文化協会そのものの在り方についても検討を始めて頂きたい。「伝統芸能・文化の継承者数」は昨年度と同様であった。引き続き継承活動の啓発など増加の取組を進めてほしい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
芸術文化振興事業	継続

基本事業 2-4-2 歴史文化遺産を活かしたまちづくり

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
歴史資料館での特集展開催回数(年間)	3 回	3 回	3 回
歴史・文化財に係る年間広報活動(広報特集・HP コラムの計)	20 件	20 件	20 件
文化財施設年間来館者数【歴史資料館(帆足萬里 記念館)・鬼門櫓・致道館の計】	13,750 人	13,571 人	14,000 人

【評価コメント】

「歴史資料館での特集展開催回数」「歴史・文化財に係る年間広報活動数」については共に目標達成しており、担当課の努力が伺える。「文化財施設年間来館者数」も順調に数値を伸ばしてきており、令和6年度の達成率は98.7%というところまで来ている。引き続き魅力ある展覧会等を開催し、歴史文化の継承と地域愛の醸成を図って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
歴史先哲資料保護費	継続

基本事業 2-4-3 生涯スポーツの振興 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
スポーツに係る周知啓発回数(年間)	3 回	3 回	4 回
総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会員数	270 人	270 人	280 人
スポーツ少年団への加入率(小学生)	23.0%	18.4%	24.0%

【評価コメント】

「スポーツに係る周知啓発回数」は目標達成している。今後も SNS 等も活用しながら周知啓発活動を強化して頂きたい。「総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会員数」は目標は達成しているものの、昨年度からは大きく減少し、町の補助金に依存している状況が続いている。組織そのもののあり方についても含め抜本的な改革を検討してほしい。「スポーツ少年団への加入率(小学生)」は増加には転じたものの目標には届いていない。まずは各種スポーツに気軽に参加・体験できる機会を作り、加入者増加に繋げて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
総合型地域スポーツクラブ自立支援事業	改善
総合型地域スポーツクラブマネージャー設置事業	改善
体育振興費補助金事業	継続
部活動地域移行支援事業	継続

基本事業 2-4-4 競技スポーツの振興**【行政評価会議による評価】****C**

(やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
大分県民体育大会で入賞(1～3位)した競技種目数	22 競技	24 競技	23 競技
スポーツ指導者研修会の参加者数(年間)	63 人	29 人	70 人

【評価コメント】

「大分県民体育大会で入賞(1～3位)した競技種目数」は昨年度より2団体増え、目標達成が続いている。各競技団体の努力の成果であり、この結果を他団体にも波及させ、町全体のスポーツ振興に繋げていって頂きたい。「スポーツ指導者研修会の参加者数」は昨年度から1名増加しているものの目標値には大きく届いていない。研修会の実施回数の増やす、参加しやすい日時を設定するなど指導者の充実を図り、各競技の強化に繋げて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
スポーツ協会補助金事業	継続

3-1 防災・減災対策の推進

担当課:総務課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
備蓄物資確保数	1,800 人分	1,800 人分	1,800 人分
災害時応援協定等締結団体数	36 団体	37 団体	37 団体

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 3-1-1 避難所・備蓄物資等の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
指定避難所の耐震化率	100%	100%	100%
備蓄物資確保数(想定避難者数分)	1,800 人分	1,800 人分	1,800 人分

【評価コメント】

「指定避難所の耐震化率」「備蓄物資確保数」とともに目標を達成している。食料品等については令和7年度に策定された日出町防災備蓄計画に沿って更新を進めて頂きたい。また、避難所の環境改善のため備品等の購入を進めるとともに避難所の運営についても更なる体制づくりを行って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
安心・安全まちづくり事業	継続

基本事業 3-1-2 防災訓練等の普及促進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町補助金を活用した自治区数	9 地区	11 地区	10 地区
町独自の防災・避難情報発信ツール	3 本	3 本	4 本
防災士会による防災まち歩き・防災講話を活用した団体数	8 団体	6 団体	9 団体

【評価コメント】

「町補助金を活用した自治区数」及び「町独自の防災・避難情報発信ツール」は昨年度と同じ数値だが、目標達成はできている。「防災士会による防災まち歩き・防災講話を活用した団体数」は上昇はしているものの、目標には達成していない。町民全体の防災意識向上のため、区長や各種団体に積極的に声掛けをして目標達成を目指して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防災関連事業	継続
防災アプリ導入事業	継続

基本事業 3-1-3 災害対応・体制の構築・整備

【行政評価会議による評価】 **A**（順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
災害時対応方策の見直し	適宜見直し （原則毎年度）	適宜見直し （原則毎年度）	適宜見直し （原則毎年度）
災害時応援協定等締結団体数	36 団体	37 団体	37 団体

【評価コメント】

「災害対応方策の見直し」については、毎年度実施されており、対応が取られている。「災害時応援協定等締結団体数」については、昨年度より増えており、最終目標を達成できる見込みとなっている。ただ、医療関係機関等、まだ協定が結べていない分野もあるため、町から積極的に働きかけて頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防災施設整備事業	継続

3-2 安全な暮らしの推進

担当課：総務課、都市建設課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
刑法犯認知件数	前年比減	35 件(4 件↑)	前年比減
交通(人身)事故発生件数	45 件	49 件	43 件

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 3-2-1 防犯対策の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
刑法犯認知件数(年間)	前年比減	35 件(4 件↑)	前年比減
自主防犯組織(防犯パトロール隊)数	12 団体	11 団体	13 団体

【評価コメント】

「刑法犯認知件数」については、増加傾向に転じており、取り組みの効果があまり現れていない状況となっている。特殊詐欺等に対応するため、引き続き周知・啓発に力を入れるとともに、警察とも連携を強化し、目標達成に向け取り組んで頂きたい。「自主防犯組織(防犯パトロール隊)数」も計画当初から一向に変動していない。区長へのアプローチを強化するなど、新規組織化を目指し、取り組みを進めていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防犯対策事業	継続

基本事業 3-2-2 交通安全活動の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
免許返納支援事業利用者数(年間)	134 人	100 人	139 人
高齢者体験型交通安全教室参加者数(年間)	115 人	26 人	118 人
街頭指導回数及び広報活動回数(年間)	77 回	84 回	81 回

【評価コメント】

「免許返納支援事業利用者数」は昨年度よりは増加したものの、依然、目標数には届いていない。「高齢者体験型交通安全教室参加者数」も目標値と大きくかけ離れており、目標達成のための工夫がほとんど行われていない印象を受ける。現状を変えるため、何か新しいことに取り組んで頂きたい。「街頭指導回数及び広報活動回数」は下落傾向を止め大きく増加した。現状を維持できれば最終目標も達成できるので、現在の取組を落とすことなく続けていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
交通安全対策事業	改善

基本事業 3-2-3 交通安全施設等の整備**【行政評価会議による評価】 B （概ね順調）**

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
危険個所に対する安全対策実施割合(累計)	95.0%	77.3%	100%

【評価コメント】

「危険個所に対する安全対策実施割合」についてはB判定の箇所についても可能なものから随時対応していただき、引き続き安全対策を実施していくとともに、町民から危険個所等の指摘があった際には、速やかに対応して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
交通安全施設維持管理事業	継続

基本事業 3-2-4 消費者保護対策の推進**【行政評価会議による評価】 C （やや遅れている）**

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
消費者相談に対する助言・斡旋回数(年間)	33 件	48 件	36 件
高齢者・若年層への啓発活動回数(年間)	11 回	5 回	12 回

【評価コメント】

「消費者相談に対する助言・斡旋回数」については、目標値を大きく上回っており、消費者の助けとなっていることが伺える。「高齢者・若年層への啓発活動回数」は昨年度より大きく減り、再び目標が達成できていない状態となっている。町ホームページだけの啓発ではなく、各種 SNS や紙媒体など、幅広い年代への啓発ができるよう取り組んでいって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消費者行政費	継続

3-3 消防・救急体制の充実

担当課:総務課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
火災発生件数	1 件	5 件	0 件
消防団組織率	88.1%	86.6%	90.4%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 3-3-1 火災予防の推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
火災発生件数	1 件	5 件	0 件
延焼発生件数	0 件	0 件	0 件

【評価コメント】

「火災発生件数」は目標には達していないが、着実に減少していきっており、消防団等による広報活動の効果は現れている。「延焼発生件数」についても0件を維持しており、火災被害の抑制が図られている。今後は消防団の広報活動だけでなく、町役場発信の広報なども強化するなどし、火災予防の取組を進めていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消防団運営事業	継続

基本事業 3-3-2 地域消防力の充実・強化 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
消防団員組織率	88.1%	86.6%	90.4%
消防学校課程修了団員数(年間)※操法課程除く	2 人	0 人	3 人
更新計画年数(20 年)を経過した積載車台数(削減目標)	0 台	0 台	0 台
更新計画年数(20 年)を経過した小型動力ポンプ台数(削減目標)	0 台	0 台	0 台

【評価コメント】

「消防団員組織率」は増加に転じたものの、これは機能別消防団員を加えたことによるもので、基本団員数は減少が続いている。実践的な訓練を導入するなどスキルの高い団員を育成することで地域消防力を落とすことのないよう取り組んでいただきたい。「消防学校課程修了団員数」についても、積極的な声掛けなどにより修了者を輩出させ、消防団のリーダーとなれる人材の育成に努めて頂きたい。「更新計画年数(20 年)を経過した積載車台数・小型動力ポンプ台数」については共に0台なので、これを維持して欲しい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消防施設整備事業	継続

4-1 商工業の振興

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町内事業所数	1,185 件	1,138 件	1,200 社

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-1-1 中小企業の支援 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(累計)	96 件	99 件	120 件
広報紙による制度周知(累計)	8 件	25 件	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(年間)	7,500 件	6,198 件	10,000 件
ふるさと納税返礼品数(累計)	500 品	913 品	500 品
ふるさと納税額(年間)	9.50 億円	8.76 億円	10 億円

【評価コメント】

「企業訪問件数(累計)」「広報紙による制度周知」については目標達成できているので、引き続き取組を推進して頂きたい。「町 HP アクセス数」については昨年度に比べ伸び幅は上がったものの、まだ目標には達していない。広報担当課と連携しサイトをブラッシュアップするとともに町 HP にいかに誘導するかを再考し、取組を進めていただきたい。「ふるさと納税返礼品数」「ふるさと納税額」についても、あと一歩というところである。町内企業との連携を密にし、地元に貢献するふるさと納税事業にしていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
商工団体振興対策事業	継続

基本事業 4-1-2 創業の支援と推進 重プ③

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
創業スクール等参加者数(累計)	250 人	121 人	300 人
商店街の空き店舗等所有者への意向調査	—	—	1
商店街の活性化に向けたワークショップ等の開催回数(累計)	4 回	4 回	5 回
空き店舗等を活用したトライアルスペースの利用事業者数(年間)	10 件	23 件	10 件
創業者件数(累計)	50 件	26 件	60 件

【評価コメント】

「創業スクール等参加者数」「創業者件数」はともに目標に大きく届いていない。商工会との連携を強化し、起業家の育成を推進して頂きたい。「商店街の活性化に向けたワークショップ等の開催回数」「空き店舗等を活用したトライアルスペースの利用事業者数」はともに目標達成できている。トライアルスペースについては、創業に直接繋がるような体制を構築するとともに、スペース内での試みが他の事業者の刺激となるような仕組みづくりを図って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
創業支援事業	廃止
店舗対策事業	継続

4-2 農林業の振興

担当課:農林水産課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
園芸の産出額	7.3 億円	8.5 億円	7.7 億円
畜産の産出額	3.9 億円	3.3 億円	4.1 億円
集落が取り組む共同活動件数	28 件	37 件	31 件

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-2-1 地域農業を支える人づくり

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
認定農業者新規認定件数(累計)	8 件	12 件	10 件
サポートチームによる新規就農者への営農支援(累計)	16 回	22 回	20 回
法人化を志向する農業者への相談支援(累計)	4 件	6 件	5 件

【評価コメント】

「認定農業者新規認定件数」「サポートチームによる新規就農者への営農支援」「法人化を志向する農業者への相談支援」の3指標いずれも目標を達成している。引き続き新規就農者の増加に取り組むとともに、就農者のアフターフォローにも取り組み離農のないように努めていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
大分県親元就農給付金事業	継続
新規就農者負担軽減対策事業	継続
新規就農者経営発展支援事業	継続
大分県産地が取り組むファーマーズスクール等支援事業	継続

基本事業 4-2-2 魅力あふれるものづくり

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
「園芸団地づくり計画」に基づく品目の増加作付面積		6.0ha	15.9ha	7.0ha
家畜飼養頭数	和牛	240 頭	224 頭	270 頭
	乳牛	355 頭	198 頭	370 頭
	養鶏	362 千羽	416 千羽	400 千羽
	養豚	5,797 頭	5,247 頭	6,000 頭
環境保全型直接支払事業取組み件数		1 件	1 件	1 件
ふるさと納税返礼品数(農業・畜産関連)		49 品	68 品	50 品

【評価コメント】

「園芸団地づくり計画」に基づく品目の増加作付面積」「家畜飼養頭数(鶏・豚)」「環境保全型直接支払事業取組み件数」「ふるさと納税返礼品数(農業・畜産関連)」の4指標の進捗については順調である。「家畜飼養頭数(和牛・乳牛)」については、乳牛が特に目標から離れている。要因として国の取組が牛の数より質に重視したものに変わってきているとのことなので、目標達成できずとも、実質的に畜産品の生産量が上がるように取組を進めていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
園芸産地づくり計画策定・推進事業	継続
環境保全型農業直接支払交付金	改善
特定家畜伝染病防疫対策事業	継続
繁殖雌牛安定生産対策事業	継続
後継牛能力向上対策事業	継続
国東半島宇佐地域世界農業遺産認定市町村支援事業	継続

基本事業 4-2-3 活力ある地域づくり **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
「人・農地プラン」実質化件数		15 件	22 件	15 件
有害鳥獣駆除数(年間)	猪	540 頭	737 頭	540 頭
	鹿	170 頭	197 頭	170 頭
中山間地域直接支払事業取組み集落数(累計)		7 集落	7 集落	7 集落
多面的機能支払事業取組み団体数(累計)		8 団体	8 団体	9 団体

【評価コメント】

「人・農地プラン」実質化件数」「有害鳥獣駆除数」「中山間地域直接支払事業取組み集落数」「多面的機能支払事業取組み団体数」の全ての指標で目標が達成されている。しかし、有害鳥獣については駆除自体は順調に進んでいるものの、被害は増加傾向にある。要因を分析するとともに、必要に応じて対策を改善していただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	区分
農地集積・集約化事業	継続
有害鳥獣被害防止対策事業	継続
地域計画策定推進事業	廃止
機構集積支援事業(農業委員会)	改善

基本事業 4-2-4 生産基盤の保全・整備

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
森林環境譲与税の有効活用による事業数	1 事業	2 事業	1 事業
防災・減災対策としての活用事業数	6 事業	4 事業	7 事業
土地基盤整備の新規取組み地区数	1 地区	1 地区	1 地区
地籍調査実施進捗率	78.0%	73.6%	81.0%

【評価コメント】

「森林環境譲与税の有効活用による事業数」「土地基盤整備の新規取組み地区数」「地籍調査実施進捗率」についての進捗は概ね順調である。土地基盤整備については、関係者との連携を密に取り、滞りなく事業が完結するように取り組んで頂きたい。「防災・減災対策としての活用事業数」については、目標に達していない。地元や大分県と十分協議しながら、取組を推進していただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
森林環境整備事業	継続
県営水田畑地化推進基盤整備事業(敷田井地区)	継続

4-3 水産業の振興

担当課:農林水産課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
漁獲量	166t	94t	168t
漁獲高	1.29 億円	0.72 億円	1.32 億円
1 経営体当たりの販売金額	7.30 百万円	7.58 百万円	7.50 百万円
大神市場における正・准組合員の平均水揚げ	148 万円	125 万円	150 万円

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-3-1 地産地消・消費拡大の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
魚介類消費拡大イベント参加回数(年間)	5 回	4 回	5 回
地場産魚介類消費拡大イベント開催数(年間)	4 回	6 回	5 回
市場情報発信回数(年間)	12 回	12 回	12 回
ふるさと納税返礼品数(水産物・漁業関係)	33 品	31 品	33 品

【評価コメント】

「魚介類消費拡大イベント参加回数」は産業文化まつりの中止により目標達成できなかったものの「地場産魚介類消費拡大イベント開催数」「市場情報発信回数」と同様、取組が軌道に乗ってきた印象を受ける。引き続き取組を推進するとともに、一イベントとして終わらせず、確実に消費の拡大に繋がる内容にして頂きたい。「ふるさと納税返礼品数(水産物・漁業関係)」は、あと一歩という実績である。水産関係者とそれ以外の町内事業者が連携して、コラボ商品の開発など取組を広げて頂きたい。

基本事業 4-3-2 魅力あふれるものづくり

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
マコガレイ放流尾数(大型種苗)	17,000 尾	15,000 尾	20,000 尾
クルマエビ放流尾数	290,000 尾	160,000 尾	290,000 尾
ガザミの放流尾数	65,000 尾	0 尾	65,000 尾

【評価コメント】

「マコガレイ放流尾数(大型種苗)」「クルマエビ放流尾数」「ガザミの放流尾数」の3指標とも目標達成できていない。ガザミなどは外部要因により実績がなかったが、引き続き公社等とも連携して、取組を進めて頂きたい。なお、漁業者のニーズによりナマコの育成にも取り組んでいるとのことで、そちらの方も成果を分析しながら、積極的に事業を進めていってほしい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
広域型増殖場中間育成事業	継続
マコガレイ育成環境整備事業	廃止
稚ナマコ生産技術開発事業	継続

基本事業 4-3-3 担い手の育成確保

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
新規就業者数及び漁業後継者数(年間)	4 人	0 人	5 人
漁業 PR 活動回数(年間)	4 回	5 回	5 回

【評価コメント】

「新規就業者数及び漁業後継者」については令和6年度は再び0人となり厳しい状況が続いている。「漁業PR活動回数」については目標を達成している。漁協や大分県とも連携し、SNS 等も活用しながら、漁業についてのPR活動を活発に行ってほしい。

基本事業 4-3-4 漁港施設の維持管理

【行政評価会議による評価】 **A**（順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
漁港等老朽化対策対象施設数	1 施設	2 施設	0 施設
藻場の新規保全箇所数	1 箇所	1 箇所	1 箇所

【評価コメント】

「漁港等老朽化対策対象施設数」「藻場の新規保全ヶ所数」とともに目標を達成している。継続している事業についても完了見込みがついているとのことであるので、着実に取組を推進して行って頂きたい。また今後の事業計画についても見直しをお願いしたい。

4-4 観光業の振興

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
観光消費額	69.5 億円	81.6 億円	70 億円
観光入込客数	128.5 万人	136.7 万人	130 万人
観光宿泊客数	26.8 万人	37.6 万人	27 万人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-4-1 効果的な情報発信

【指標の達成状況】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
観光情報サイトアクセス数(年間)	275,000pv	341,572pv	280,000pv
観光消費(飲食・購買等)につながるコンテンツのサイト掲載数	145 ページ	215 ページ	150 ページ
観光パンフレットの設置箇所数(町内外を問わず)	97 箇所	215 箇所	100 箇所

【評価コメント】

「観光情報サイトアクセス数」「観光消費(飲食・購買等)につながるコンテンツのサイト掲載数」「観光パンフレットの設置箇所数」の3指標全てで増加し、目標達成できている。引き続き魅力的な情報サイトを作っていくとともに、サイトやパンフレット以外の情報発信にも力を入れ、観光客の誘致に繋げていきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
観光振興事業	継続

基本事業 4-4-2 コンテンツのブラッシュアップと造成

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
観光滞在プラン(周遊、滞在、地域連携型)の商品化数	35 プラン	47 プラン	40 プラン
団体ツアー客誘致促進数	187 件	99 件	190 件

【評価コメント】

「観光滞在プラン(周遊、滞在、地域連携型)の商品化数」については、昨年度より15増え、目標達成できている。関係団体等と連携を深め、さらに魅力のあるプランを商品化して頂きたい。「団体ツアー客誘致促進数」については伸び悩みが続いている。団体ツアー客誘致に繋がる観光資源の掘り起こしに取り組むとともに、近隣地からインバウンドを誘客できるような仕組み作りも検討して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
城下かれい祭り費	継続
ザビエルの道ウォーキング大会費	改善
デスティネーションキャンペーン関連事業	廃止
観光親善大使コラボ事業	廃止
観光誘客促進事業	廃止

基本事業 4-4-3 組織強化と連携

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
ひじ町ツーリズム協会 会員数	190 団体	162 団体	200 団体
二の丸館販売コーナーの売上額	685 万円	691 万円	700 万円
観光拠点(二の丸館)年間来館者数	49,900 人	24,821 人	50,000 人

【評価コメント】

「ひじ町ツーリズム協会会員数」は横ばいが続き、目標未達成である。事業者が大きく増えている訳ではないので難しい部分もあるが、協会と協力し増加に取り組んでほしい。「二の丸館販売コーナーの売上額」は初めて目標達成されている。目標未達成の「観光拠点(二の丸館)年間来館者数」増加に向け、販売コーナーも含めた二の丸館全体の魅力向上を目指し、取組を進めて頂きたい。なお、全ての指標でツーリズム協会との連携が重要となっている。日出町の観光振興のため協会とは、より連携を密にし、意見を出し合い高めあってほしい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ひじ町ツーリズム協会補助事業	改善

4-5 企業誘致と雇用の創出

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
企業誘致件数(令和3～7年度の累計)	12 件	5 件	15 件
雇用創出数(①+②)累計	400 人	47 人	500 人
新規雇用予定者数① ※企業誘致(新設、増設)による新規雇用予定者数	—	0 人	—
新規雇用予定者数② ※半島振興法等に基づく支援による新規雇用予定者数	—	+2人	—

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-5-1 企業誘致の推進 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(累計)	96 件	99 件	120 件
町 HP(適地情報)アクセス数(年間)	4,800 件	3,338 件	6,000 件
大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数(累計)	48 件	27 件	60 件

【評価コメント】

「企業訪問件数(累計)」についてはこれまでに進捗の遅れを取り返し目標を達成している。「町 HP アクセス数」については目標に達していない。広報担当課との連携を強化するとともに町 HP にいかに誘導するかを再考し、取組を進めていきたい。「大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数」は一年間の件数では令和6年度は最多件数ではあるが、目標からは遠く離れている。立地意向調査等を活用しながら、効率的に企業訪問を推進していただきたい。企業誘致は地道な活動の積み重ねが成果に繋がるので、継続した取り組みをお願いする。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
企業立地推進事業	改善
立地意向調査委託事業	継続

基本事業 4-5-2 雇用の場の確保 重プ③

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
企業訪問件数(再掲)	96 件	99 件	120 件
広報紙による制度周知(再掲)	8 件	25 件	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(再掲)	7,500 件	6,198 件	10,000 件
法令に基づく中小企業支援を受けた事業者数(累計)	55 件	24 件	70 件

【評価コメント】

「企業訪問件数(累計)」「広報紙による制度周知」については目標達成できているので、引き続き取組を推進して頂きたい。「町 HP アクセス数」については目標に達していない。広報担当課との連携を強化するとともに町 HP にいかに誘導するかを再考し、取組を進めてい頂きたい。「法令に基づく中小企業支援を受けた事業者数」は大きく目標から離れている。まだまだ支援について知らない中小企業も多いと考えられるので、周知の機会を増やして頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
日出町シルバー人材センター支援事業	改善

5-1 生活・自然環境の保全

担当課:住民生活課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
自然が保全されていると考える町民の割合	82.0%	77.4%	85.0%
町民 1 人あたりの 1 日あたり家庭ごみ排出量	518g	733g	518g

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-1-1 環境保全対策の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
公共用水域の環境基準(BOD・COD)達成率	100%	100%	100%
生活排水処理率	84.5%	82.3%	86.1%
SDGs ネットワーク登録者数(累計)	40 人	35 人	50 人
町施設の電気使用量と電気使用料金(年間)	2,600,000kw 54,427 円	2,629,090kw 66,435 千円	2,600,000kw 54,427 千円

【評価コメント】

「公共用水域の環境基準(BOD・COD)達成率」は 100%が継続されている。「生活排水処理率」は目標には達していないものの、着実な増加が見られる。「SDGs ネットワーク登録者数(累計)」については増加しているものの、目標値に達していないため周知に力を入れて頂きたい。「町施設の電気使用量と電気使用料金(年間)」については、料金については社会情勢等に影響されるため増加となっているが、使用量そのものは LED 化などにより令和3年度以降減少が続いており、このまま取組を継続して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
合併処理浄化槽設置整備事業	継続

基本事業 5-1-2 ごみの減量とリサイクルの推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
資源化(リサイクル)率	9.5%	7.0%	10.0%
搬入ごみ展開検査実施回数(年間)	3 回	3 回	3 回
広報等による啓発回数(年間)	6 回	11 回	6 回

【評価コメント】

「搬入ごみ展開検査実施回数」及び「広報等による啓発回数」は目標達成しており、担当課の努力が伺える。しかしながら最重要指標である「資源化率」が横ばいのままであり、十分な取組が進んでいるとは言えない状況である。達成のためには町民全体の意識改革が必要であるため、学校や老人会など各種団体を巻き込んだ啓発に取り組んでいただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ごみ減量化推進事業	継続
一般廃棄物処理対策事業	継続

基本事業 5-1-3 生活衛生の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
生活衛生(ペット、野焼、騒音、悪臭等)に関する年間苦情件数(削減目標)	53 件	179 件	50 件
狂犬病予防注射率	57.0%	56.5%	58.0%

【評価コメント】

「生活衛生に関する年間苦情件数」については、基準値から3倍近くまで増加しており目標値から大きく乖離している。増加の原因を分析するとともに、苦情の内容に地域の偏りがある場合は、その地域に絞って回覧等の周知回数を増やすなど取り組みを工夫してほしい。「狂犬病予防注射率」については昨年度より減少している。目標達成に向け、再度、取組を強化していただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
猫の不妊・去勢手術費補助金	改善

5-2 良質な水道水の安定供給

担当課: 上下水道課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
上水道有収率	82.5%	89.6%	83.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-2-1 安全な水の安定提供 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
給水原価	106.0 円	103.1 円	106.0 円
老朽管の更新率	1.25%	0.75%	1.30%

【評価コメント】

「給水原価」は昨年度よりも僅かではあるが下がっており、目標を達成している。W-PPP の導入検討など、経費の抑制に繋がる取組を進めていって頂きたい。「老朽管の更新率」は昨年度より大幅に悪化し、目標値から大きく離れてしまっている。老朽管以外の工事にも労力を割かれることは理解できるが、事故防止に向け、計画に沿って着実に更新を行って頂きたい。

基本事業 5-2-2 水道施設の強靱化

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
耐震化実施施設数(累計)	8 施設	5 施設	8 施設

【評価コメント】

「耐震化実施施設数」については昨年度より1施設増えたものの、目標は達成できていない。用地交渉や予算の問題など様々な要因があることは理解できるが、南海トラフ大地震が予想されている中、施設の耐震化は速やかに行っていく必要がある。言うまでもなく水道は重要なインフラであるので、優先順位を上げ、耐震化の取組を加速させて頂きたい。

5-3 汚水処理の推進

担当課:上下水道課等

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
水洗化率	75.5%	74.9%	76.8%
水洗化人口	20,949 人	20,747 人	21,190 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-3-1 生活排水処理施設の整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
生活排水処理率	84.5%	82.3%	86.1%
下水道接続率	83.0%	84.6%	83.3%

【評価コメント】

「生活排水処理率」は目標には達していないものの、着実に増加してきている。「下水道接続率」も昨年度より増加し、目標を達成している。引き続き、単独浄化槽から合併浄化槽の切替や整備済区域内の下水道未接続者への勧奨など、水質保全の取組を推進して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
合併処理浄化槽設置整備事業(住民生活課)	継続

基本事業 5-3-2 健全な下水道経営の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
経費回収率(公共・漁集・農集事業の計)	113.3%	89.0%	113.3%
汚水処理原価(公共・漁集・農集事業の計)	150.3 円/㎡	167.2 円/㎡	150.3 円/㎡

【評価コメント】

「経費回収率」は昨年度より減少、「汚水処理原価」は昨年度より増加と両指標とも悪化している。公共下水道事業のみで見れば指標は改善されとのことなので、厳しい状況ではあるが集落排水事業の経営改善についての取り組みを強化して頂きたい。

5-4 快適な都市機能の充実と景観まちづくりの推進

担当課:都市建設課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
住宅や商業施設・病院・公園などが計画的に開発・配置されていると思う市民の割合	68.1%	72.7%	70.0%
土地政策・道路整備等の誘導施策に伴い新築された住宅数(R3～7年度累計)	80 戸	153 戸	100 戸

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-4-1 都市計画街路・町道などの整備 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
都市計画路の整備率	—	—	62.1%
町道改良率	68.0%	65.1%	70.0%
橋梁長寿命化整備数(累計)	19 箇所	19 箇所	21 箇所

【評価コメント】

「町道改良率」は昨年度から微減となっている。道路改良は国庫補助金等に影響される部分があるが、優先順位をつけ、現在整備中の路線から確実に改良していったきたい。「橋梁長寿命化整備数」は目標を達成しているので、引き続き緊急度の高い橋梁から整備を進めていったきたい。

基本事業 5-4-2 計画的な土地利用と市街地整備の充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
都市計画における土地利用の誘導策となる計画の策定	—	—	1 個
まちづくりワークショップの開催(年間)	1 回	0 回	1 回
公園の設備に満足している市民の割合	69.0%	83.0%	70.0%
糸ヶ浜海浜公園の利用者数(年間) ※宿泊客・日帰り客の合算	46,900 人	29,636 人	46,900 人
豊岡公園の整備率	9.7% (92.5%)	4.1% (85.2%)	11.8% (100%)

【評価コメント】

立地適正化計画に関する指標である「まちづくりワークショップの開催」数については目標達成できていない。参加しやすいワークショップにすることで実績をあげて頂くとともに、策定についても令和7年度から取り組んで頂きたい。「公園の設備に満足している町民の割合」は昨年度より大きく向上し、目標達成できている。「糸ヶ浜海浜公園の年間利用者数」については昨年度より大きく減少している。十分分析を行い、利用者増加に向けて PR 等をお願いしたい。合わせて、民間活力の導入についても検討して頂きたい。「豊岡公園の整備率」は進捗が遅れてきている。計画に基づき整備をお願いしたい。

基本事業 5-4-3 景観まちづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B**（概ね順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
景観計画に基づく運用協議会開催数(年間)	1 回	0 回	1 回

【評価コメント】

予定通り令和7年4月から景観条例が施行され景観のまちづくりが推進されている。まずは景観条例・景観計画について幅広く周知し、その上で「景観計画に基づく運用協議会」を適宜開催し、景観に関する課題の解消に取り組んでいって頂きたい。

基本事業 5-4-4 空き家対策

【行政評価会議による評価】 **A**（順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
老朽危険家屋の除去件数(累計)	13 件	13 件	15 件
空き家バンク物件成約件数(H28 以降の累計) ※数値はいずれも年度末時点	115 件	111 件	130 件
空き家の利活用促進に係る協議会の開催回数 (年間)	2 回	7 回	2 回

【評価コメント】

「老朽危険家屋の除去件数」については目標を達成できている。引き続き取り組んで頂くとともに、令和元年度に行った実態調査の再調査を早めに実施して現状を把握して頂きたい。「空き家バンク物件成約件数」も進捗が鈍化している。関係課と連携して取組を進めて頂きたい。「空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数」も目標を達成している。内容は居住支援協議会とのことなので、今後は空き家の利活用そのものに焦点をあてた協議会の設置なども検討していって頂きたい。

基本事業 5-4-5 公営住宅の適正な管理

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町営住宅入居率	85.0%	92.6%	92.0%
町営住宅管理戸数	250 戸	267 戸	230 戸

【評価コメント】

「町営住宅入居率」は昨年度より低下しているものの、目標達成できている。引き続き入居者募集の広報等を強化することにより、入居率の向上を目指して頂きたい。「町営住宅管理戸数」については、減らすことはできているものの、少しペースが遅くなっている。青津山住宅の入居者移転・取り壊しについて、入居者との話し合いを進め、取組を加速して頂きたい。

5-5 公共交通の充実

担当課:まちづくり推進課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町内の公共交通に満足している町民の割合	68.0%	61.6%	70.0%
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	2,000 円	2,482 円	1,000 円

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-5-1 地域内交通網の充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
交通不便地域残存数	0 区	0 区	0 区
地域内フィーダー交通年間利用者数	40,000 人	13,600 人	50,000 人
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	2,000 円	2,482 円	1,000 円

【評価コメント】

デマンド型公共交通の全域導入により、「交通不便地域」は解消されている。「地域内フィーダー交通年間利用者数」はデマンドタクシーの完全実施などにより実績を伸ばしているものの目標は未達成である。「コミュニティ交通利用者 1 人あたりの経費」も下がってはきているものの、目標には届いていない。高齢化社会を迎え、交通手段の確保は大きな課題である。限られた財源の中でさらに効果的・効率的な交通網の整備を進めてほしい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
コミュニティバス運行事業	継続
デマンド型地域公共交通運行事業	改善

基本事業 5-5-2 広域交通網の利用促進 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町内 JR 駅平均乗車人員(JR 九州公表資料)	2,350 人	一人	2,400 人
地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数	20 箇所	5 箇所	20 箇所

【評価コメント】

民間バスの路線休止により「地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数」は大きく減少している。致し方のない部分もあるが、JR の町内4駅への結節は必ず維持して頂きたい。民間事業者との連携を密にし、新たな交通網の開発も含め、着実に交通網の整備を進めていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
公共交通関係振興事業	継続

6-1 人権を尊重する社会づくり

担当課:住民生活課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
人権が尊重されていると思う市民の割合	87.0%	98.7%	88.0%
人権に関する講演会や研修会に参加したことがある市民の割合(累計)	35.0%	26.4%	50.0%

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 6-1-1 生涯学習の視点に立った人権教育の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数(年間)	16 回	22 回	20 回
町が開催・支援する人権の研修、講演会の参加者数(年間)	1,000 人	1,113 人	1,200 人

【評価コメント】

「研修、講演会の開催数(年間)」「研修、講演会の年間参加者数」とともに目標達成しており、進捗は順調と言える。人権フェスティバルをさらに盛り上げていくなど、住民に直接訴えかけるイベントなどをさらに強化していただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
人権推進差別解消啓発事業	継続

基本事業 6-1-2 あらゆる場における人権教育・啓発の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
広報紙・町ホームページでの啓発の回数(年間)	28 回	22 回	30 回
特定の職業に従事する者への研修の開催数	8 回	14 回	10 回

【評価コメント】

「広報紙・町ホームページでの啓発の回数(年間)」については目標には届かなかったものの増加している。引き続き取組を進めていただきたいが、回数だけではなく内容についても町民の心を引きつけるよう工夫していただきたい。「特定の職業に従事する者への研修の開催数」については、昨年度より大きく下がっているものの、目標は達成できている。今後は町役場との関係が希薄な業種の方にも積極的に研修を開催していただきたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
人権推進差別解消啓発事業	継続

基本事業 6-1-3 男女共同参画社会の推進**【行政評価会議による評価】** **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない町民の割合	69.0%	83.2%	70.0%
町の審議会等における女性委員の割合	36.0%	21.7%	40.0%

【評価コメント】

「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない町民の割合」は減少しているものの目標は達成しており、町民の意識改革が進んできていることが伺える。性別に基づく固定的な役割分担意識の解消のため、引き続き学習会も含めた啓発に取り組んで頂きたい。「町の審議会等における女性委員の割合(各年度)」については横ばいが続き目標達成できていない。各審議会等の構成を確認し、管轄課と参画率向上に向けた具体的な取り組みを推進して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
男女共同参画事業	継続

6-2 町民とともに創る持続可能なまちづくり

担当課:まちづくり推進課・政策企画課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
まちづくり協議会(推進組織)の設立件数	5 件	1 件	6 件
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で 取組のあった団体数(年間)	5 団体	2 団体	6 団体

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 6-2-1 共創のまちづくりを進める仕組みづくり **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
地域課題に向けたワークショップ、講座等の開催 数(年間)	3 回	3 回	3 回
「共創のまちづくり」について必要と感じている 町民の割合	89.0%	95.4%	90.0%

【評価コメント】

「地域課題に向けたワークショップ、講座等の開催数」「共創のまちづくり」について必要と感じている町民の割合」はともに目標を達成している。引き続きワークショップ等を開催するとともに、広報などにより町民の意識の醸成に取り組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
自治区・区長会支援事業(総務課)	継続
共創のまちづくり支援事業	継続

基本事業 6-2-2 町民が主体となった地域づくり組織の育成・支援 **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R6 実績値	R6 実績率	R7 最終目標値
校区别まちづくり計画の策定数(累計)	5 件	0 件	6 件
まちづくり協議会(地域自主運営組織)及び類似組織の設立数(累計)	5 団体	1 団体	6 団体
地域おこし協力隊・集落支援員の配置数(累計)	5 人	4 人	6 人

【評価コメント】

「校区别まちづくり計画の策定数」「まちづくり協議会(地域自主運営組織)及び類似組織の設立数」については当初から実績がない状態が続いている。まちづくり協議会そのものの必要性も含め、町の関与をあり方や方針について見直しを行って頂きたい。「地域おこし協力隊・集落支援員の配置数」は増減がなかったため結果として目標は未達成となった。地域課題の解消のため、今後も協力隊を十分に活用して行って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
地域おこし協力隊事業	継続

基本事業 6-2-3 多様な担い手による地域づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
高校・大学・企業等との連携事業数(年間)	3 事業	4 事業	3 事業
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数(年間)	6 団体	2 団体	6 団体

【評価コメント】

「高校・大学・企業等との連携事業数」は着実に増加してきている。更なる増加に向け、町の課題をこちらから積極的に提案するとともに、自由な発想で、学校・企業等との連携し、新たな地域資源の開発や PR に取り組んで頂きたい。「共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数」も昨年度より減り目標未達成となっている。まちづくりなどに興味がある団体にこの制度を積極的に周知し、支援を広げて行って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
共創のまちづくり支援事業	継続

基本事業 6-2-4 「公共私」連携と「公」の広域化の推進

【指標の達成状況】 **A**（順調）

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
地域課題の解決のために官民が連携した取り組みの数(累計)	4 事業	5 事業	5 事業
他市町村との広域連携に基づく新たな取り組みの数(累計)	4 件	6 件	5 件

【評価コメント】

「地域課題の解決のために官民が連携した取り組みの数」及び「他市町村との広域連携に基づく新たな取り組みの数」は両指標とも目標値を達成しており、順調にその取組みが進んでいる。引き続き、「公共私」連携と「公」の広域化の推進に取り組み、住民サービスの向上に資するものとして行って頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
大分都市広域圏連携事業	継続

6-3 移住・定住施策の推進

担当課:まちづくり推進課・政策企画課

■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
移住促進策による移住者数(年間)	65 人	62 人	70 人
人口の社会増加数(年間)	160 人	3 人	170 人

■基本事業・事務事業の評価

基本事業 6-3-1 情報発信と移住支援体制の強化

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町 HP 年間閲覧数(移住・空き家バンク情報)	39,000pv	18,796pv	40,000pv
移住促進施策による年間移住者数	65 人	62 人	70 人
空き家バンク物件登録件数(累計)	135 件	154 件	150 件
空き家バンク成約件数(累計)	115 件	111 件	130 件
空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数(年間)	2 回	7 回	2 回

【評価コメント】

「移住促進施策による年間移住者数」「空き家バンク物件登録件数」「空き家バンク成約件数」「空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数」の4指標の進捗は概ね順調である。「町HP年間閲覧数(移住・空き家バンク情報)」については、年々大きく実績値が減少していていることが憂慮される。促進施策による移住者や空き家バンク成約数が減っている訳ではないので、閲覧数が減った原因や移住者数との関連等を分析し、取組を改善して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
移住・定住促進事業	継続
エニワン・ウェルカム・タウン推進事業	継続

基本事業 6-3-2 「しごと」を創出し、「ひと」を誘致する

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
町内事業所数(累計)	1,185 件	1,138 件	1,200 件
雇用創出数(累計)	400 人	47 人	500 人
人口の社会増加数(年間)	160 人	3 人	170 人

【評価コメント】

「町内事業所数」は横ばいが続いている。「雇用創出数」についても一年間ごとの実績で見たとしても寂しい数字である。企業誘致や創業支援などにより増加に向け取組を強化して頂きたい。「人口の社会増加数」については、社会情勢等を考えるとなかなか難しい目標であることは理解できる。この指標に関しては、当然雇用の創出等も重要だが、それ以外の町の取組も必要不可欠なので、関係課と連携を取り社会増に繋げていってほしい。

基本事業 6-3-3 日出町のファン獲得 **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R6 目標値	R6 実績値	R7 最終目標値
ふるさと寄附金の寄附件数(寄附金額)	38,000 件 (9.50 億円)	35,201 件 (8.76 億円)	40,000 件 (10 億円)
町公式 SNS フォロワー数	9,500 人	17,517 人	10,000 人

【評価コメント】

「ふるさと寄附金の寄附件数」「ふるさと寄附金の寄附金額」とともに昨年度より減少しているものの、達成率は90%を超えている。自治体間の競争が激化しているが、効果的なプロモーション活動により寄附金 10 億円を達成して頂きたい。「町公式SNSフォロワー数」は目標値を大きく上回っている。日出町のファンを増やすため、引き続きフォロワー数の向上に努め、ふるさと納税にも繋げていって頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ふるさと寄附金事業	継続
企業版ふるさと寄附金事業	継続